

目 次

はしがき

第 1 部 安全保障の理論から考える平和

- 第 1 章 国家の安全保障と平和——星野 英一 3
- 1 国家の安全保障とは何か 3
 - 2 平和への「国家安全保障」アプローチ 5
 - 3 同盟戦略と日米安保体制 13
 - 4 沖縄の安全をめぐる政策 22
- 第 2 章 人間の安全保障と平和——星野 英一 30
- 1 人間の安全保障とは何か 30
 - 2 平和への「人間の安全保障」アプローチ 33
 - 3 在沖米軍基地問題への「人間の安全保障」アプローチ 40
 - 4 沖縄における補償型政治の終わり 47

第 2 部 沖縄の軌跡から考える平和

- 第 3 章 沖縄は平和か？——戦争と暴力の源泉——島袋 純 59
- 1 沖縄は平和か？ 59
——暴力と人権侵害が制度化され蔓延する沖縄
 - 2 近代国際関係の成立と国際法の発展 60
 - 3 日本の琉球併合と沖縄支配 70

- 4 可視化される沖縄への暴力と人権侵害 79
- 5 平和を破壊する試み 84
——人民の自決権を否定する国際条約は無効

第4章 平和憲法と沖縄——高良 鉄美 88

- 1 沖縄戦と憲法の関係 88
- 2 米軍統治下の沖縄における平和主義原理、
平和的生存権 89
- 3 米軍統治下の沖縄における国民主権原理と
基本的人権尊重原理 93
- 4 復帰後の沖縄と憲法 97
- 5 復帰後の沖縄における基地問題と平和主義原理 98
- 6 復帰後の沖縄における国民主権原理と
基本的人権尊重原理 107
- 7 おわりに 114
——検証沖縄復帰と平和憲法

第3部 マイノリティの視座から考える平和

第5章 社会運動と平和——阿部 小涼 119

- 1 社会運動から平和を考える 119
- 2 社会運動論の登場 120
- 3 平和（主義）運動の無力化？ 124
- 4 暴力について考える 127
- 5 反抗は権利なのか 129
- 6 ポスト新しい社会運動と市民性、変容する主体 132
- 7 沖縄から考える 134

第 6 章 ジェンダーと平和——阿部 小涼 141

- 1 ジェンダー視角の重要性 141
- 2 ジェンダーを定義する 144
- 3 沖縄、女たちの反軍事主義 146
- 4 批判的フェミニズムから 154
- 5 国家を非暴力化する思想 156

第 4 部 平和教育の実践から考える平和

第 7 章 社会科教育と沖縄の平和教育史——里井 洋一 163

- 1 社会科教育と平和教育 163
- 2 新教育と沖縄 166
- 3 米軍統治と沖縄平和教育の誕生 169
- 4 沖縄戦研究と平和教育 172
- 5 平和運動の新展開と平和教育 178
- 6 まとめにかえて 184

第 8 章 沖縄から考える平和教育実践の課題

——山口 剛史 187

- 1 沖縄戦70年を迎えての平和教育の課題 187
- 2 沖縄戦学習で考える平和教育 193
- 3 在沖軍事基地から日米安保体制を考える平和教育 200
- 4 平和形成のための平和教育を 205

あとがき

博物館リスト